

学術雑誌の選定基準について

平成 12 年 12 月 7 日制定
平成 13 年 10 月 23 日改定
平成 15 年 7 月 7 日改定
平成 28 年 5 月 11 日改定
研究資料委員会

1. 学術雑誌の選定にあたっては、以下の 2 点に留意する。
 - (1) 長期的視野からの良質な学術雑誌のコレクションを構築する。
 - (2) 学術雑誌購入費の効率的な運用と、研究動向や出版状況の変化に適切に対応するために、毎年度見直しを行う。

2. 学術雑誌は、(1) 日文研全体として必須の雑誌、(2) 新任教員推薦の雑誌、(3) 個人研究用の雑誌の 3 種類に分けて扱い、選定基準及び購入の手続きは以下のとおりとする。
 - (1) 日文研全体として必須の雑誌
日本研究のために各研究分野において特に重要な雑誌。研究資料委員会で選定し、学術雑誌購入費で購入する。

 - (2) 新任教員推薦の雑誌
 - ・ 新任の専任教員は、就任後 2 年以内に 1 人 3 誌まで、その研究分野において必要な雑誌を推薦することができる。なお、推薦者の任期等の関係で、短期間で購読終了となる可能性のある雑誌の推薦については、2 人以上の副推薦者を必要とする。また、副推薦は 1 人 3 誌までとする。
 - ・ 推薦者は推薦理由書を添えて研究資料委員会に提出し、承認が得られた場合には、学術雑誌購入費で購入する。
 - ・ 推薦した教員が異動した場合、適宜研究資料委員会で見直しを行う。

 - (3) 個人研究用の雑誌
 - ・ 各教員が選定し、本人の個人研究費を用いて購入する。研究資料委員会の承認は必要としない。
 - ・ 選定した教員の異動時に、原則として購入を中止する。